

令和4年度 第1回金沢区地域防災拠点運営委員会連絡協議会

日時:令和4年5月27日(金)14時00分～

会場:金沢公会堂 講堂

次 第

1 会長あいさつ

2 区長あいさつ

3 連絡協議会役員 及び 行政職員の紹介 (別紙1・2)

4 関係機関の紹介

ア 横浜市アマチュア無線非常通信協力会 金沢区支部 (資料1)

イ 横浜防災ライセンス・金沢

ウ 金沢区災害ボランティアネットワーク (青色リーフレット)

5 議 題 (目安:14時30分～)

(1) 令和3年度事業報告・決算報告 及び 監査報告について (資料2)

(2) 令和4年度事業計画(案) 及び 予算(案)について (資料3)

(3) 書類提出依頼について

ア 地域防災拠点鍵管理者名簿 及び 運営委員会緊急連絡先 (資料4)

【6月30日(木)締切 金沢区役所総務課まで】

イ 備蓄物資状況確認報告書 及び 備蓄物資チェック表 (資料5)

【上半期分:9月30日(金)締切 金沢区役所総務課まで】

【下半期分:3月31日(金)締切 金沢区役所総務課まで】

ウ 災害対策用備蓄食料の有効活用について (資料6)

【6月30日(木)締切 金沢区役所総務課まで】

(裏面あり)

6 各課からの情報提供等 (目安: 15 時 00 分～)

- ア 地域防災拠点運営研修のご案内【総務局】(資料 7)
- イ 地域防災拠点備蓄倉庫におけるガソリンの保管について【総務局】(資料 8)
- ウ 地域防災拠点に備蓄している生活用品の更新について【総務局】(資料 9)
- エ 令和 4 年度災害時避難者向け Wi-Fi の運用訓練の実施について【総務局】(資料 10)
- オ 災害時に備えた訓練【水道局】(資料 11)
- カ 震災時の医療提供体制について【福祉保健課】(資料 12)
- キ 令和 4 年度「障害理解について」出前講座のご案内【高齢・障害支援課】(資料 13)
- ク 災害用応急井戸、衛生ポスター、ペット同行避難について【生活衛生課】(資料 14)

<総務課から説明>

- ケ 「地域防災拠点ブロック連絡会」について(資料 15)
- コ 「地域防災拠点訓練見学会」について(資料 16)

<資料配布のみ>

- サ 「女性の視点で取り組む防災」動画 DVD について(資料 17+DVD)
- シ 地域防災拠点担当消防団員について(資料 18)
- ス 横浜防災ライセンス講習会のスケジュールについて(資料 19)

金沢区地域防災拠点運営委員会連絡協議会会則

(目 的)

第1条 金沢区地域防災拠点運営委員会連絡協議会（以下「協議会」という。）は、金沢区内の地域防災拠点運営委員会（以下「運営委員会」という。）相互の緊密な連絡及び連携を図ることによって、金沢区内の防災力の向上に寄与することを目的とする。

(所掌事務)

第2条 協議会は、次の各号に掲げる事項について協議するものとする。

- (1) 運営委員会の運営助成に関すること。
- (2) 運営委員会の防災に係る研修及び訓練等の支援に関すること。
- (3) 協議会の予算及び決算に関すること。

(組 織)

第3条 協議会は、運営委員会の会長及び学校関係者並びに区行政関係者をもって組織する。

(役 員)

第4条 協議会に、次の役員を置く。

会長	1名
副会長	若干名
監事	2名

- 2 役員は、構成員の互選によって定める。
- 3 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

(役員の仕事)

第5条 会長は、協議会を統括し、会議の議長となる。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、会長に代わって協議会を統括する。
- 3 監事は、会計を監査する。

(会 議)

第6条 協議会の会議は、区内の防災に関し、必要の都度開催するものとする。

- 2 協議会の会議は、会長が召集する。

(経 費)

第7条 協議会の経費は、横浜市からの助成金、その他の収入をもってこれに充てる。

(会計年度)

第8条 協議会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(顧問)

第9条 協議会に顧問を置く。顧問は、金沢区長をもってあてるものとする。

(事務局)

第10条 協議会の事務局は、金沢区総務部総務課に置く。

(委 任)

第11条 この会則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附則

この会則は、平成8年7月31日から施行する。

この会則は、平成16年6月1日から施行する。

令和4年度の役員体制

役 職	氏名	拠点
会 長	大胡 隆文	富岡小学校
副会長	岩崎 建一郎	瀬ヶ崎小学校
副会長	鈴木 正徳	文庫小学校
監 事	吉原 義則	金沢小学校
監 事	白井 益弘	並木中学校

令和4年度の金沢区経営責任職

役 職	氏名
区 長	永井 京子
副区長	小林 悦夫
消防署長	和知 治
福祉保健センター長	船山 和志
福祉保健センター担当部長	飯田 晃
土木事務所長	松寄 尚紀

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 金沢区支部

■アマチュア無線非常通信協力会とは

大規模な災害では、電話や携帯などの通信インフラも被害を受け、重要な連絡や通信ができなくなることが予想されます。

私たちは、金沢区内のアマチュア無線家のボランティアです。
大規模な災害を想定して日ごろから非常通信の訓練をしています。

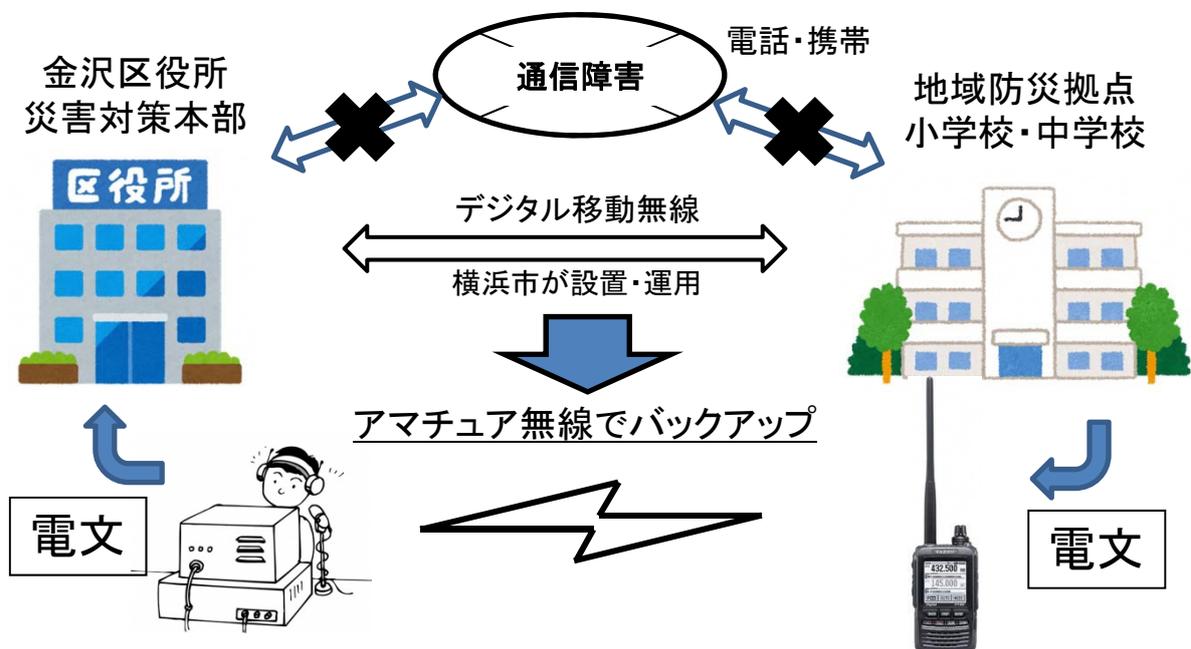
地域防災拠点が開設され、電話などでの区役所(災害対策本部)との連絡ができないとき、地域防災拠点にアマチュア無線局を開設し、通信のバックアップをします。

金沢区役所にアマチュア無線局が設置されており、コールサインはJR1YWMです。

■地域防災拠点の訓練では

非常通信協力会のメンバーが出向いて、実際にアマチュア無線局を開設し、区役所との間で通信訓練を行います。

協力会のメンバーに訓練電文をお渡しいただければ、区役所へ送信します。



■会員募集中

地域でアマチュア無線の資格をお持ちで非常通信協力会の活動に興味のある方は、ご連絡を！！

ホームページ : <http://jr1ywm.wixsite.com/public>

代表者: 平石 浩二

メールアドレス: jr1ywm-info@sora-iro.net

金沢区地域防災拠点運営委員会連絡協議会
令和3年度事業報告

1 連絡協議会の開催

- (1) 第1回 令和3年5月27日(木)午後2時30分から 区役所5階1号会議室
- ア 地域防災拠点運営委員会連絡協議会役員を選任
 - イ 令和2年度事業報告・決算報告及び監査報告について
 - ウ 令和3年度事業計画(案)及び予算(案)について
 - エ 資料の提出依頼について
 - オ 各課からの情報提供
- (2) 第2回 新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み中止(書類送付のみ)
- ア 資料の提出依頼について
 - イ 各課からの情報提供

2 各拠点の活動

- (1) 運営委員会の開催(通年)
- (2) 防災訓練の実施(通年)
- ア 実施 26拠点中18拠点
 - イ 会場 各地域防災拠点
 - ウ 内容 各地域防災拠点独自の訓練に加え、避難所開設・運営訓練
新型コロナウイルス感染症対策を盛り込んだ訓練
- (3) 防災備蓄庫資機材等の確認及び点検
- ア 実施時期及び実施主体
第1回：令和3年9月末まで 各地域防災拠点運営委員会
第2回：令和4年3月末まで 各地域防災拠点運営委員会
 - イ 内容
横浜市防災計画に定められた防災拠点における備蓄品の管理
 - ・計画数量と実際の在庫数量の照らし合わせ
 - ・水、食料の賞味期限の確認
 - ・資機材の点検、燃料等消耗品の補充及び交換
 - ・感染防止対策用物資の整備

(第 5 号様式)

令和 3 年度 金沢区地域防災拠点運営委員会連絡協議会事業決算書

1 収入の部

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	増 △ 減	説 明
横浜市助成金	3,120,000	2,984,870	▲135,130	5 拠点で使用残あり
利 息	0	1	1	繰 越
計	3,120,000	2,984,871	▲135,129	

2 支出の部

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	増 △ 減	説 明
運営委員会 活動助成費	3,120,000	2,984,870	▲135,130	5 拠点で使用残あり
(振込手数料)	(20,130)	(20,130)	0	活動助成費の内数
計	3,120,000	2,984,870	▲135,130	

○収支差額については次年度に繰越

(第10号様式3)

令和4年5月26日

金沢区地域防災拠点運営委員会連絡協議会

会 長 大胡 隆文 様

金沢区地域防災拠点運営委員会連絡協議会

監 事 吉原 義則

監 事 白井 益弘

監 査 報 告 書

金沢区地域防災拠点運営委員会連絡協議会の令和3年度の会計監査を実施しましたので、その結果を次のとおり報告します。

- 1 監査年月日 令和4年5月26日
- 2 監査対象期間 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで
- 3 監査事項 収支伝票、現金出納簿、預金通帳

4 監査の結果及び意見

令和3年度協議会事業について監査を行いました結果、収支伝票、現金出納簿、預金通帳等に問題はなく、本協議会の会計は適正に処理されたものと確認しました。

金沢区地域防災拠点運営委員会連絡協議会
令和4年度事業計画

1 連絡協議会の開催

(1) 第1回：令和4年5月27日（金）午後2時から 金沢公会堂

- ア 令和3年度事業報告・決算報告及び監査報告について
- イ 令和4年度事業計画（案）及び予算（案）について
- ウ 書類の提出依頼について
- エ 各局、各課からの情報提供

(2) 第2回：令和5年3月 金沢公会堂（予定）

- ア 令和4年度事業報告
- イ 令和5年度事業予定等
- ウ 書類の提出依頼について
- エ 各局、各課からの情報提供について

2 各拠点の活動

(1) 運営委員会の開催（通年）

(2) 防災訓練の実施

- ア 実施日 令和4年9月頃～令和5年3月末
- イ 会場 各地域防災拠点
- ウ 内容 拠点の開設、運営に係る実践的な訓練及び資機材の取扱い訓練等

(3) 防災備蓄庫資機材等の確認及び点検

ア 実施時期及び実施主体

- 第1回：令和4年9月末まで 各地域防災拠点運営委員会
- 第2回：令和5年3月末まで 各地域防災拠点運営委員会

イ 内容

横浜市防災計画に定められた防災拠点における備蓄品の

- ・計画数量と実際の在庫数量の照らし合わせ
- ・水、食料の賞味期限の確認
- ・資機材の点検、燃料等消耗品の補充及び交換
- ・感染防止対策用物資の整備

3 区主催の研修等の実施

(1) 地域防災拠点ブロック連絡会 . . . 詳細は資料15にて

(2) 地域防災拠点訓練見学会 . . . 詳細は資料16にて

(第 3 号様式)

令和 4 年度 金沢区地域防災拠点運営委員会連絡協議会事業予算書

1 収入の部

単位：円

項 目	予 算 額 (R 4 年度)	予 算 額 (R 3 年度)	増 △ 減	説 明
横浜市助成金	3,120,000	3,120,000	0	@120,000×26拠点
計	3,120,000	3,120,000	0	

2 支出の部

単位：円

項 目	予 算 額 (R 4 年度)	予 算 額 (R 3 年度)	増 △ 減	説 明
運営委員会 活動助成費	3,120,000	3,120,000	0	@120,000×26拠点
(振込手数料)	(20,130)	(20,130)	0	活動助成費の内数
計	3,120,000	3,120,000	0	

令和4年度 金沢区地域防災拠点鍵管理者名簿

届出日：令和4年 月 日

学校地域防災拠点運営委員会

保管者氏名	委員会役職名	住 所	電話番号	正門	体育館	昇降口	備蓄庫	受領	返却	備考

令和4年6月30日(木)までに、①ご郵送 または ②区役所まで直接ご持参 をお願いします。

①ご郵送いただく場合 → 〒236-0021 金沢区泥亀2-9-1
金沢区役所総務課 防災担当 宛て

②ご持参いただく場合 → 金沢区役所総務課 防災担当（区役所6階603窓口）
防災担当：永田・山下・高橋・丸山（問合せ先：788-7706）

令和4年度 地域防災拠点運営委員会 緊急連絡先

届出日：令和4年 月 日

拠点名	学校地域防災拠点			
氏名	役職(委員長・副委員長等)	自宅電話番号	携帯電話番号	FAX番号(ない場合は「なし」と記入)
	委員長			

令和4年6月30日(木)までに、①ご郵送 または ②区役所まで直接ご持参 をお願いします。

①ご郵送いただく場合 → 〒236-0021 金沢区泥亀2-9-1

金沢区役所総務課 防災担当 宛て

②ご持参いただく場合 → 金沢区役所総務課 防災担当 (区役所6階603窓口)

防災担当：永田・山下・高橋・丸山 (問合せ先：788-7706)

第2号様式（第5条第2項）

令和 年 月 日

_____学校地域防災拠点備蓄物資
状況確認報告書(上半期)

金 沢 区 長

_____学校地域防災拠点運営委員会
会 長

横浜市地域防災拠点防災備蓄庫等管理要綱第5条第2項の規定に基づき、別紙チェック表により、備蓄物資の在庫数量等を確認しましたので報告します。

結 果

報告者氏名 _____

連絡先 _____

- 備蓄物資を確認の結果、作動状況・在庫数量とも良好でした。
- 次のとおり[在庫数量 ・ 資機材]に不都合がありました。

品 目	該当数量	内 容	考えられる原因等	備 考
		故障・不足		

- [添付資料] 資機材等確認チェック表写し
 その他報告事項

【提出締切】 令和4年9月30日（金）まで

第2号様式（第5条第2項）

令和 年 月 日

_____学校地域防災拠点備蓄物資
状況確認報告書(下半期)

金 沢 区 長

_____学校地域防災拠点運営委員会
会 長

横浜市地域防災拠点防災備蓄庫等管理要綱第5条第2項の規定に基づき、別紙チェック表により、備蓄物資の在庫数量等を確認しましたので報告します。

結 果

報告者氏名

連絡先

- 備蓄物資を確認の結果、作動状況・在庫数量とも良好でした。
- 次のとおり[在庫数量 ・ 資機材]に不都合がありました。

品 目	該当数量	内 容	考えられる原因等	備 考
		故障・不足		

- [添付資料] 資機材等確認チェック表写し
 その他報告事項

【提出締切】 令和5年3月31日（金）まで

学校地域防災拠点防災資機材等チェック表(上半期)

注) 「状況」は、良好=○、不良= \times α 個、数量不足= Δ β 個と記載して下さい。

注) 食料については在庫数量を記載して下さい。

作動確認品目	品 目	計画数量	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
			状 況	状 況	状 況	状 況
			確認者	確認者	確認者	確認者
※	発電機 (ガソリン式)	3 台				
	燃料 (ガソリン)					
	オイル					
※	発電機 (ガス式)	3 台				
	燃料 (カセットボンベ)	12本				
	オイル					
※	投光機	5 台				
	コードリール					
※	エンジンカッター	2 台				
	燃料					
	オイル					
	防塵眼鏡	2 個				
	革手袋	2 組				
※	レスキュージャッキ 又は油圧ジャッキ	1 組				
※	ハンドマイク	2 個				
	単 1 電池					
	給水用水槽	1 個				
※	移動式炊飯器	1 式				
	又はガスかまどセット					
	灯油					
	簡易テント	2 基				

※	ランタン	80台				
	モジュラーコード	1基				
	トランシーバー	2台				
	ロープ	5本				
	ワイヤカッター	5本				
	つるはし	5本				
	大ハンマー	5本				
	スコップ	5本				
	てこ棒	5本				
	大バール	5本				
	大なた	5本				
	のこぎり	5本				
	掛矢	2個				
	金属はしご	1本				
	リヤカー	2台				
	ヘルメット	10個				
	担架	10本				
	応急担架用ポール	10本				
	松葉杖	5組				
	グランドシート	10枚				
	保温用シート	50枚				
	毛布	240枚				
	アルミブランケット	240枚				
	組立式トイレ	2基				
	簡易式トイレ便座	6組				
	トイレパック	5,000セット				
	高齢者用紙おむつ	210枚				
	幼児用紙おむつ	1,350枚				
	生理用品	425個				
	トイレットペーパー	192巻				

注) 期限切れ食料については、表中の「(期限切れ)」の欄に年度に関係なく数量の記入をお願いします。

作動 確認 品目	品 目		計画数量	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
				状 況	状 況	状 況	状 況
		賞味期限		数量	数量	数量	数量
水缶詰	年度		2,000缶				
	年度						
	年度						
	年度						
	年度						
(期限切れ)							
主食系	クラッカー	年度	1,000食				
		年度					
		年度					
		年度					
		年度					
	(期限切れ)						
	缶入り保存パン	年度	1,000食				
		年度					
		年度					
		年度					
年度							
(期限切れ)							
おかゆ	年度	460食					
	年度						
	年度						
(期限切れ)							
スープ	年度	220食					
	年度						
	年度						
(期限切れ)							
粉ミルク	年度	19セット					
	年度						
(期限切れ)							
哺乳びん							

令和4年9月30日(金)までにご報告をお願いします。
 金沢区役所総務課 防災担当 永田・山下・高橋・丸山
 TEL 788-7705

学校地域防災拠点防災資機材等チェック表(下半期)

注) 「状況」は、良好=○、不良= \times α 個、数量不足= Δ β 個と記載して下さい。

注) 食料については在庫数量を記載して下さい。

作動確認品目	品目	計画数量	年月日	年月日	年月日	年月日
			状況	状況	状況	状況
			確認者	確認者	確認者	確認者
※	発電機(ガソリン式)	3台				
	燃料(ガソリン)					
	オイル					
※	発電機(ガス式)	3台				
	燃料(カセットボンベ)	12本				
	オイル					
※	投光機	5台				
	コードリール					
※	エンジンカッター	2台				
	燃料					
	オイル					
	防塵眼鏡	2個				
	革手袋	2組				
※	レスキュージャッキ 又は油圧ジャッキ	1組				
※	ハンドマイク	2個				
	単1電池					
	給水用水槽	1個				
※	移動式炊飯器	1式				
	又はガスかまどセット					
	灯油					
	簡易テント	2基				

※	ランタン	80台				
	モジュラーコード	1基				
	トランシーバー	2台				
	ロープ	5本				
	ワイヤカッター	5本				
	つるはし	5本				
	大ハンマー	5本				
	スコップ	5本				
	てこ棒	5本				
	大バール	5本				
	大なた	5本				
	のこぎり	5本				
	掛矢	2個				
	金属はしご	1本				
	リヤカー	2台				
	ヘルメット	10個				
	担架	10本				
	応急担架用ポール	10本				
	松葉杖	5組				
	グランドシート	10枚				
	保温用シート	50枚				
	毛布	240枚				
	アルミブランケット	240枚				
	組立式トイレ	2基				
	簡易式トイレ便座	6組				
	トイレパック	5,000セット				
	高齢者用紙おむつ	210枚				
	幼児用紙おむつ	1,350枚				
	生理用品	425個				
	トイレットペーパー	192巻				

注) 期限切れ食料については、表中の「(期限切れ)」の欄に年度に関係なく数量の記入をお願いします。

作動 確認 品目	品 目		計画数量	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
				状 況	状 況	状 況	状 況
		賞味期限		数量	数量	数量	数量
	水缶詰	年度	2,000缶				
		年度					
		年度					
		年度					
		年度					
		(期限切れ)					
主食系	クラッカー	年度	1,000食				
		年度					
		年度					
		年度					
		年度					
			(期限切れ)				
	缶入り保存パン	年度	1,000食				
		年度					
		年度					
		年度					
年度							
		(期限切れ)					
おかゆ	年度	460食					
	年度						
	年度						
		(期限切れ)					
スープ	年度	220食					
	年度						
	年度						
		(期限切れ)					
粉ミルク	年度	19セット					
	年度						
		(期限切れ)					
哺乳びん							

令和5年3月31日(金)までにご報告をお願いします。
 金沢区役所総務課 防災担当 永田・山下・高橋・丸山
 TEL 788-7706

令和4年5月27日

地域防災拠点運営委員長 各位

金沢区総務課長

地域防災拠点に備蓄している食料の有効活用について（依頼）

小満の候 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃から横浜市の防災対策にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和4年度に更新を迎える備蓄食料について、拠点訓練等における有効活用を次のとおり依頼します。

1 訓練等で配布可能な備蓄食料

品目	配布可能箱数	製造年度 (ラベル色)	賞味期限
水缶詰	17箱 (24本/箱)	平成28年度 (赤色ラベル)	令和5年8月31日
保存パン	10箱 (20食/1箱)	平成29年度 (青色ラベル)	令和5年1月31日
おかゆ	6箱 (20食/1箱)	平成29年度 (青色ラベル)	令和5年1月31日
クラッカー	3箱 (70食/箱)	平成29年度 (青色ラベル)	令和5年1月31日又は 令和5年2月28日

※発災時に使用できる食料が減ってしまいますので、上記以外の食料は配布しないでください。

※平成29年度製造のスープは令和4年7月に期限を迎えますので、発災時に召し上がらないようご注意ください。

2 配布可能時期と数量

別添「令和4年度備蓄食料の更新計画（予定）」のとおり

3 留意点

- ・賞味期限切れのものを訓練等で配布しないよう、必ず期限を確認して配布してください。
- ・対象の備蓄食料以外は、訓練等で配布しないでください。
- ・年度内に期限が切れる保存パン、おかゆ及びクラッカーを活用する場合は、必ず令和4年12月までに使い切ってください。
- ・誤配布や備蓄庫に期限の切れた備蓄食料が残ることを防ぐため、確実に使用する食料のみ報告ください。

裏面あり

4 配布の報告書

備蓄食料の配布をした場合は、令和4年6月30日（木）までに、別添の報告書を金沢区総務課あてにご提出いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

なお、回収数量をとりまとめる必要があることから、報告が無い場合は配布なしとして処理させていただきます。

5 その他

訓練等の際に、更新予定の備蓄食料を備蓄庫の入口にまとめて置いていただけますと、回収漏れや誤回収が減りますので、ご協力をお願いいたします。

担当 金沢区総務課 永田、山下、高橋、丸山 TEL:045-788-7706 FAX:045-786-0934

令和4年度 備蓄食料の更新計画（予定）

品目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水缶詰				有効活用 報告用の 限の有無 の	【配送】令和4年度製造分(青色ラベル)(24本/箱×14箱) 【回収】平成28年度製造分(赤色ラベル)(24本/箱×17箱)					【未使用分の 回収】		
保存パン			【配送】令和4年度製造分(青色ラベル)(20食/箱×10箱) 【回収】平成29年度製造分(青色ラベル)(20食/箱×10箱)									
おかゆ			【配送】令和4年度製造分(青色ラベル)(20食/箱×5箱) 【回収】平成29年度製造分(青色ラベル)(20食/箱×6箱)									
クラッカー			【配送】令和4年度製造分(青色ラベル)(70食/箱×3箱) 【回収】平成29年度製造分(青色ラベル)(70食/箱×3箱)									
ライスクッキー					【配送のみ】令和4年度製造分(青色ラベル)(20食/箱×1箱)							
【有効活用】					令和4年度分が配送された後から拠点訓練等で有効活用 							
スープ					【配送】令和4年度製造分(青色ラベル)(45食/箱×2箱) 【回収】平成29年度製造分(青色ラベル)(45食/箱×1箱)							
粉ミルク					【配送】令和4年度製造分(青色ラベル)(20缶/箱×1箱) 【回収】令和3年度製造分(赤色ラベル)(20缶/箱×1箱)							
【有効活用】					※スープ及び粉ミルクは賞味期限が短いため有効活用不可							

令和4年 月 日

報告書

令和4年度に更新する予定の備蓄食料を防災訓練等で有効活用します。

1 配布（予定）日

令和 年 月 日

2 訓練等での配布（予定）数量

水缶詰	保存パン	おかゆ	クラッカー
箱	箱	箱	箱

3 報告者

_____地域防災拠点運営委員会

担当： _____

【注意事項】

本調査票は、令和4年6月30日（木）までに、金沢区総務課防災担当
(6階603窓口) へご提出ください。

令和4年 地域防災拠点運営研修のご案内

地震時の避難所である地域防災拠点は、拠点運営委員や避難された方によって運営します。
本研修を受講いただき、具体的な運営方法を学びましょう。

1 研修対象者

拠点運営委員の方（研修の成果を地域防災拠点運営につなげていただくため、お手数ですが、各拠点の代表者の方からご推薦をお願いします。）

※推薦は任意です。

※各組織から2名まで推薦可能です。

※家庭防災員、防災ライセンス講習会、
防災・減災推進研修を受講された方も推薦可能です。

【受講者の声】

講義やグループワークを通じて拠点運営の具体的なイメージがつかえました。

2 研修内容

（1）研修カリキュラム

9:30 ～ 10:30	【講義】 「地域防災拠点の運営方法について知ろう」	○地域防災拠点の運営方法や拠点運営の活動事例等について学びます。
10:30 ～ 12:00	【グループワーク】 「避難所運営の模擬体験をしよう」	○ケーススタディを通して避難所で起きている出来事にどう対応するか図上にて体験します。

（2）開催日時 ※ 内容はすべて同じです。

【時間】 9：30～12：00

日程	場所	定員
6月27日（月）	横浜市民防災センター（横浜駅）	50名
6月28日（火）	横浜市民防災センター（横浜駅）	50名
6月29日（水）	横浜市民防災センター（横浜駅）	50名
6月30日（木）	横浜市民防災センター（横浜駅）	50名
7月2日（土）	栄区役所（本郷台駅）	40名
7月9日（土）	旭区役所（鶴ヶ峰駅）	40名
7月23日（土）	金沢区役所（金沢文庫駅）	40名
7月30日（土）	青葉区役所（市が尾駅）	40名
8月4日（木）	中区役所（関内駅）	50名

申込方法等は裏面のとおり

3 申し込み方法

「地域防災拠点運営研修 推薦書」(別紙1)に、必要事項をご記入のうえ、郵送、FAXまたは電子メールにて、6月10日(金)まで(必着)に、以下の宛先にお申し込みください。

申し込みの受付や受講者決定通知の送付等は、株式会社ミントスに委託しています。

【宛先】株式会社ミントス

○郵送：〒231-0014 横浜市中区常盤町1-2-1 9F-D

○FAX：045-228-8510

○電子メール：seminar.annai2021@gmail.com

4 受講者の決定

6月中旬ごろに、受講決定の通知を、受講者あてにお送りいたします。

※希望者が、定員を超えた場合は、来年度以降に受講をお願いすることがあります。その場合、「各区の受講者数のバランス」などを考慮し、受講者を決定させていただきますのでご了承ください。

5 新型コロナウイルス感染症への対策について ※詳細なコロナ対策は別添のとおり

研修の実施にあたっては、研修施設の消毒、換気、受講者の間隔を確保して実施します。

また、受講者につきましては、マスクの着用、受付での消毒、検温にご協力をお願いします。

なお、緊急事態宣言が発出されている等の場合には中止となる可能性があります。

6 自宅学習編

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、自宅学習用の動画をすべて閲覧したうえで、「修了証発行申請書」をご提出していただいた場合には、「地域防災拠点運営研修」を受講したとものとします。修了証の発行を希望される場合は、「修了証発行申請書」(別紙2)を総務局地域防災課まで送付ください。

申請書受付期間：令和4年6月10日(金)から令和5年3月20日(月)まで

7 お問い合わせ

研修の申し込み方法等について (申し込みの受付業務を以下に委託しています)

担当 株式会社ミントス

電話：045-228-8080

研修の内容や自宅学習編の申し込み方法等について

担当 横浜市総務局地域防災課 (長谷川、橋本)

電話：045-671-3456

8 その他

※当日午前8時の時点で「警報」または「特別警報」が横浜市域に発令されている場合は中止とします。

また、それ以外の場合でも悪天候等の理由により中止することがあります。当日中止と判断した場合には当日午前8時以降に横浜市ホームページにてご案内いたします。

パソコン・スマートフォン等をお持ちでない方は、横浜市コールセンターまで御連絡下さい。

研修に関するホームページはこちら

横浜市 防災・減災推進研修

検索

<横浜市コールセンター> 045-664-2525 (平日・土日祝日いずれも 8:00~21:00)

令和 年 月 日

株式会社 ミントス 行

地域防災拠点名 _____

代表者名 _____

住 所 _____

電 話 _____

「地域防災拠点運営研修」推薦書

令和4年の「地域防災拠点運営研修」受講者として、次の方を推薦します。

しめい 氏名	住所	電話番号
	〒	
	〒	

- 各組織から2名まで推薦することができます。
- 氏名は楷書で、ふりがなを付け、住所は棟室番号までご記入ください。
- 6月10日（金）まで（必着）**にご送付ください。
- 研修時間はいずれも9：30～12：00です。

【受講希望日】 受講可能日（太枠）に○をつけてください。

※日程調整の都合上、できる限り多くの日程に○のご記入をお願いします。

実施日	【第1回】 6月27日（月）	【第2回】 6月28日（火）	【第3回】 6月29日（水）	【第4回】 6月30日（木）
場所	横浜市民防災センター	横浜市民防災センター	横浜市民防災センター	横浜市民防災センター
受講可能日				
実施日	【第5回】 7月2日（土）	【第6回】 7月9日（土）	【第7回】 7月23日（土）	【第8回】 7月30日（土）
場所	栄区役所	旭区役所	金沢区役所	青葉区役所
受講可能日				
実施日	【第9回】 8月4日（木）	—	—	—
場所	中区役所	—	—	—
受講可能日		—	—	—

研修の申込みにあたり収集する氏名、電話番号、住所の個人情報は「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い、適正に管理し、決定通知の送付、研修の中止等、事務局から連絡の必要が生じた場合にのみ利用します。

【宛先】株式会社ミントス

○郵送：〒231-0014 横浜市中区常盤町1-2-1 9F-D

○FAX：045-228-8510

○電子メール：seminar.annai2021@gmail.com

総務局地域防災課 行

自治会・町内会等団体名 _____

代表者名 _____

住 所 _____

電 話 _____

「地域防災拠点運営研修」修了証発行申請書

次の方は指定された地域防災拠点運営に関する動画を閲覧しました。「地域防災拠点運営研修」の修了証の発行を申請します。

氏名	住所	電話番号
	〒	

動画名（収録時間）	閲覧完了
地域防災拠点開設マニュアル（約20分）	
新型コロナウイルス感染症を踏まえた災害時の避難（約5分）	
地域防災拠点の開設・運営について（約21分）	

※すべての動画を閲覧していただくことが修了証発行の条件となります。

※それぞれの動画について、閲覧完了欄にチェックをお願いします。

※組織内で取りまとめてご提出される場合は、本紙の氏名欄に「別紙のとおり」と記載し、別紙3に希望者全員分の「氏名」・「住所」・「連絡先」をご記入のうえ、ご提出ください。

閲覧した動画に
チェック（✓）

【動画の案内】防災学習コンテンツ内の動画より閲覧をお願いします。

ウェブサイトURL <https://cgi.city.yokohama.lg.jp/somu/chiikibousai>

横浜市 防災学習コンテンツ

検索

二次元コード



【備考】

修了証発行の申込みにあたり収集する氏名、住所、電話番号の個人情報は「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い、適正に管理し、修了証の送付や研修のご案内等、事務局から連絡の必要が生じた場合にのみ利用します。

修了証には、地域防災拠点開設・運営マニュアルやスターターキット等、地域防災拠点運営を推進していただくうえで、参考となる資料を同封いたします。また、申請書提出から修了証発行までに、数週間から数か月程度お時間をいただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

申請書送付先・問い合わせ先

※申請書はメール、FAX、郵送いずれかで送付してください。

総務局地域防災課（長谷川・橋本）

TEL：045-671-3456 FAX：045-641-1677

電子メール：so-gensai@city.yokohama.jp

住所：〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10 10階

研修開催時の新型コロナウイルス感染症への対策について

研修の開催にあたり、感染対策を行ったうえで実施します。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

1 基本的な感染対策の実施

- ・研修会場の席の間隔、受講者同士、講師と受講者との間隔を確保します。
- ・職員及び講師は、検温等健康管理に努め、手洗いをします。
- ・職員及び講師は、マスクを着用します。
- ・会場には手指消毒液を用意します。
- ・会場の机、ドアノブ等の消毒を行います。

2 受講される方へのお願い

- ・受付の際には、検温、手指の消毒をお願いします。
- ・体調不良（発熱、咳等の風邪症状）の方は受講をお控えください。
- ・研修施設内ではマスクの着用をお願いします。
- ・会場内における身体的距離の確保にご協力ください。
- ・受講中に体調不良になった場合、速やかにお申し出ください。
- ・休憩中等の会話は控えめにしてください。

3 その他

感染拡大の状況によって、開催方法の変更または中止の可能性があります。その場合には研修受講者宛にご連絡いたします。

問い合わせ先：横浜市総務局危機管理室地域防災課

担当：長谷川、橋本

TEL:045-671-3456 FAX:045-641-1677

各地域防災拠点各位

総務局地域防災課
避難等支援担当課長

地域防災拠点の備蓄倉庫におけるガソリン等の保管について

日頃より地域防災拠点の運営にご尽力いただき誠にありがとうございます。
拠点でのガソリン等の危険物の保管について、改めて周知させていただきます。

1 概要

ガソリン、消毒用アルコールなど消防法上の危険物について、一定量以上の貯蔵・取扱いをする場合は、市長の許可や消防署長への届出が必要となります。

各地域防災拠点運営委員会でガソリン等を購入、保管される際は届出不要な範囲の数量で、適切に管理していただきますようお願いいたします。

2 地域防災拠点の備蓄倉庫で保管可能な危険物の量（一部抜粋）

消防法上の危険物について、物品ごとに定められた「指定数量」の1/5未満の量は、届出不要です。
届出不要な範囲の数量＝倉庫で保管可能な量をご確認ください。

物品	指定数量		倉庫で保管可能な量
ガソリン	200 リットル	➡ ÷ 5	40 リットル未満
消毒用アルコール※	400 リットル		80 リットル未満

※消毒用アルコールについては、アルコール濃度が60%以上（重量%）の製品が危険物に該当します。

複数の危険物を保管する場合は、それぞれの割合の合計が1/5未満となる必要があります。ご不安な点があれば、各区総務課防災担当にご連絡ください。

【計算例】ガソリン20リットル、アルコール20リットルを保管している場合

$$\frac{\boxed{\text{ガソリン}}}{20 \text{ (保管している量)}} + \frac{\boxed{\text{アルコール}}}{400 \text{ (指定数量)}} = 0.15 \rightarrow \frac{\boxed{\text{合計の割合}}}{5} \text{ (一) 未満のため}$$

※詳細は横浜市消防局ホームページ「許可や届出が必要な危険物の量」をご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/shobo/seikatsu/mijika/kyoka-todokede.html>

【担当】総務局地域防災課
御所脇・高安
671-2011

地域防災拠点に備蓄している生活用品の更新について

地域防災拠点に備蓄している生活用品は、令和元年度に一斉更新を行いました。
令和4年度から計画的に更新を行いますので、お知らせします。

1 更新を行う生活用品

- ・哺乳瓶 40 本
- ・生理用品 425 個
- ・高齢者用紙おむつ・紙パンツ 210 枚
- ・乳幼児用紙おむつ・紙パンツ 1,350 枚

2 更新計画

品名 (1拠点あたりの 計画数量)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	数量	数量	数量	数量	数量
ほ乳瓶 (40 本)	83 拠点 (南区・港 南区・保土 ヶ谷区)	112 拠点 (旭区・磯 子区・ 金沢 区 ・港北 区)	89 拠点 (緑区・青 葉区・都筑 区)	93 拠点 (戸塚区・栄 区・泉区・瀬 谷区)	82 拠点 (鶴見区・神 奈川区・西 区・中区) ※
生理用品 (425 個)					
高齢者用紙お むつ・紙パン ツ (210 枚)					
乳幼児用紙お むつ・紙パン ツ (1,350 枚)					

※鶴見・神奈川・西・中は令和3年度に生理用品のみ更新を行いました。

3 その他

配送時期は8月～9月の備蓄食料の更新と併せて入替作業を行う予定です。

担当 地域防災課 御所脇・福田
電話 045-671-2011

令和4年度 災害時避難者向け Wi-Fi の運用訓練の実施について

令和3年度に横浜市立小中学校に設置された教育用 Wi-Fi 設備について、災害時の避難所・避難場所でも使用できるようになり、運用訓練を行ってきたところです。

令和4年度においても、災害時避難者向け Wi-Fi の運用訓練を実施することとしましたので、ご案内します。

(1) 実施日時 (すべて土曜又は日曜日)

以下の実施予定日のうち、実施希望のあった日時

6月	7月	8月	9月	10月
18日	17日	20日	10、25日	8、23日
11月	12月	R5年1月	2月	3月
12、27日	10、18日	21日	19日	18日

(2) 申込方法

金沢区総務課防災課担当までご連絡ください。

<Wi-Fi 運用訓練の申込について>

担当：金沢区総務課 (TEL 788-7706)

山下、永田、高橋、丸山

<Wi-Fi 設備全般について>

担当：総務局地域防災課 (TEL 671-2011)

御所脇、福田

横浜市新教育情報ネットワーク
災害時避難所運営者及び避難者向け Wi-Fi
SSID、接続方法例

1 提供 SSID : YY_NET-SAIGAI

2 接続方法例 : ①端末の Wi-Fi 機能を有効。

②「YY_NET-SAIGAI」と表示されている SSID を選択すると接続可能。

※パスワードの入力は不要。

※無線方式でのみ接続が可能。

※体育館での同時接続端末台数の目安は1アクセスポイントあたり40台。通常2アクセスポイントがあるため80台。

※無線アクセスポイントの仕様上、端末の電源 OFF や Wi-Fi 機能を無効にしても、最低30分間は接続中とカウントされます。

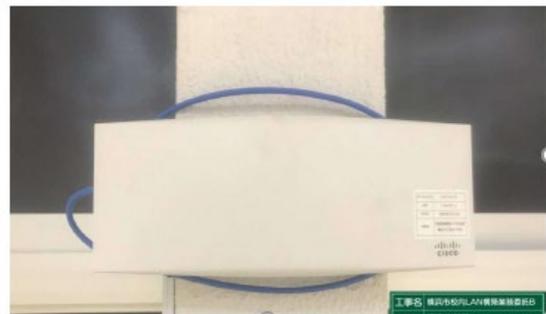
3 利用優先順位 : ①避難所運営者 (市職員を含む)

②避難者

③今回線のネットワーク管理責任者が認めるもの



例：
体育館に設置したアクセスポイント



横浜市水道局では水道施設の耐震化を進めつつ、地域防災拠点では、災害用地下給水タンクの操作など、災害時に飲料水を確保するための訓練を市民の皆様と協働で行っています。

水道は、都市のライフラインとして、震災時であっても必要な給水を確保することが不可欠です。地域防災拠点の訓練実施に際して、飲料水確保のための訓練の実施もご検討いただければと思います。

1 実技編（実際に皆さまに実技を行っていただく訓練）

災害用地下給水タンクを利用した飲料水の確保訓練

《内容》 災害時に地域の皆さまの助け合いにより災害用地下給水タンクを開設し、被災者に飲料水を提供できるようにするための訓練です。

《対象》 災害用地下給水タンクが設置されている地域防災拠点

富岡小学校・富岡中学校（西富岡小学校拠点隣）・富岡東中学校（並木第一小学校拠点隣）・並木中学校・釜利谷中学校（釜利谷南小学校拠点隣）・金沢小学校・六浦中学校・朝比奈小学校

（1）<<少人数向け>>組み立て実技訓練

運営委員会メンバー又は運営委員会が指名したメンバー（食料物資班など）などに対して、装置組み立てや操作などの実技訓練を行います。

《所要時間》 30分～45分

《対象人数》 10人～15人程度

★全体訓練開始前・終了後に行うことも可能です。



実技中心

（2）<<大人数向け>>組み立て見学及び実技訓練

全体訓練の参加者等（複数のグループ）を対象に、水道局職員が行う装置組立て作業を見学しながら、何人かの方（5人程度）に組立作業を体験していただきます。

また、災害時に飲料水を確保する方法や、飲料水の備蓄等に関する説明をします。

《所要時間》 1グループあたり 20分～30分

《対象人数》 1グループ 50人以内（実技は5人程度）



説明中心

災害用地下給水タンクは、拠点の皆さまで設営する設備です。設置拠点におかれましては、積極的に訓練を実施していただきますようお願いいたします。

2 概要説明編

「災害時の飲料水確保について」

《内容》 災害時に飲料水を確保する方法や地下タンク・緊急給水栓の機能や役割、また飲料水の備蓄のお願いなどをご説明します。参加者の皆さんにチラシを配布して、訓練全体集会の場などで説明します。

《対象》 すべての地域防災拠点

《所要時間》 10分～15分

依頼方法及び問い合わせ先

【依頼方法】

「災害時に備えた訓練依頼書」にご記入の上、必ず地域防災拠点参与（各拠点を担当する区役所の課長又は係長）経由で下記へFAXにてご送付ください。

お申し込み後、水道局担当者より参与さまへ、電話またはEメールでご連絡いたします。

※

各拠点運営委員会

 →

拠点担当参与

 →

水道局

【依頼・問い合わせ先】

横浜市水道局 洋光台水道事務所 事務係

電話：045-833-7491 FAX：045-831-0679

横浜市水道局 洋光台水道事務所 事務係 あて
(FAX 045-831-0679)

令和 年 月 日

「災害時に備えた訓練」依頼書

次のとおり、水道局による訓練を依頼します。

地域防災拠点名： _____

運営委員会委員長名： _____

区役所参与名： _____ 課 _____ 係 _____

区役所参与連絡先： ☎ _____

実施日	令和 年 月 日 ()
時間	午前・午後 時 分 ~ 時 分

希望する訓練にチェックを入れてください

<input type="checkbox"/>	1-(1)災害用地下給水タンク《組み立て実技訓練》
<input type="checkbox"/>	1-(2) 災害用地下給水タンク《組み立て見学及び実技訓練》
<input type="checkbox"/>	2 災害時の飲料水確保について説明

通信欄（ご要望等があればご記入願います）

※複数の地域防災拠点訓練の日程が重なった場合や、設備のメンテナンス時など、ご希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

震災時の診療は、旗のある医療機関へ。



診療可能な医療機関は「**診療中**」の旗を掲出します。
緊急度・重症度に応じて医療機関を選んで受診してください。

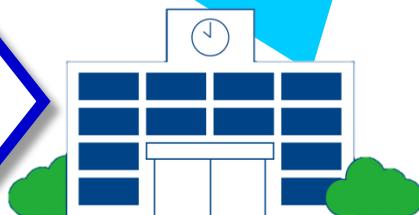
極めて軽度のケガの場合

まずは家族・隣近所で応急処置を。



地域防災拠点へ

地域防災拠点(避難所)では、医師・看護師・薬剤師などで編成された医療救護隊が巡回診療を実施します。

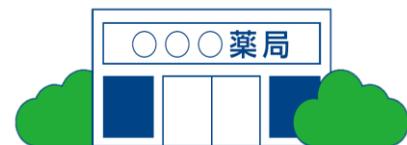


小中学校(区内26か所)

薬局

被災を免れて開局している薬局も旗を掲示します。

開局中
横浜市



軽症

生命の危険がなく入院の必要もない。

診療所へ

黄色の旗が目印



打撲 捻挫 軽いやけど など

被災を免れた診療可能な診療所(クリニック)へ

診療中
横浜市

中等症

生命の危険はないが入院が必要。

災害時救急病院へ



脊髄損傷 四肢骨折 大きな切傷(要縫合) 中度のやけど など

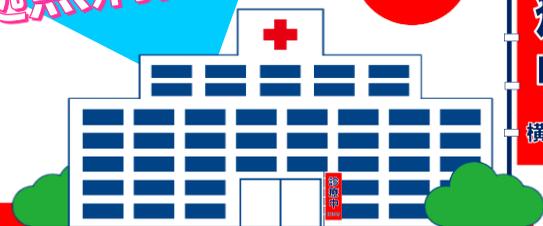
金沢文庫病院、金沢病院、神奈川県立循環器呼吸器病センター、若草病院、横浜なみきりハビリテーション病院

重症

生命の危険がある。生命の危険が迫っている。

災害拠点病院へ

赤色の旗が目印



呼吸困難 意識障害 多発外傷 大量出血 多発骨折 広範囲のやけど など

横浜市立大学附属病院、横浜南共済病院

診療中
横浜市

災害が起こる前に、お近くの医療機関をご確認ください。



横浜市 災害医療

検索

【お問合せ先】金沢区福祉保健課 ☎045-788-7824



災害応急用井戸（災害用井戸協力の家）について

大規模地震等の災害時には、水道施設の被災によって給水体制の確保が困難となることが予想されるため、上水道が復旧するまでの間、地域における生活用水として井戸水を市民の皆さんに活用していただくことを目的として井戸を所有する方々に市民への井戸水の提供について御協力をお願いいたしました。

この指定井戸は、御協力のお申し込みをいただいた井戸のうち、一定の水質を確保することが可能な井戸を「災害用井戸協力の家」と指定させていただいたものです。

地下水汚染も予想されますので、災害井戸は、洗浄水などの生活用水として使用し、飲み水は地域防災拠点等で供給される飲料水や備蓄されたものを使用してください。

- ・区内災害応急用井戸名簿は福祉保健センター生活衛生課で確認できます。情報提供が必要な場合はお知らせください。
- ・指定井戸の場所には、右図の「災害用井戸協力の家」プレートを門扉等に掲示していただいています。



（災害応急用井戸利用に際して以下のことに注意してください）

- ・震災等の発災時のみに利用してください。平時の利用はできません。
- ・被災時の状況等（破損、水量不足等）によっては利用できない場合があります。利用前には必ず井戸所有者に声をかけてから利用してください。容器はご持参ください。
- ・利用用途は「生活用水」（洗濯、トイレの流し水や清掃用水等）です。※飲用、炊事用、食材や食器の洗浄には使用しないでください（口に入れないうご注意ください。）。

○指定井戸件数

	全市内 (令和4年3月31日現在)	金沢区内 (令和4年3月31日現在)
件数	1,916 件	158 件



○横浜市ホームページ 「災害応急用井戸について」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-ku-rashi/seikatsu/kaiteki/saigai.html#saigaiido>



「災害用井戸協力の家」指定名簿の活用について

大規模地震等の災害時には、水道施設の被災によって給水体制の確保が困難となることが予想されます。そこで、水道が復旧するまでの間、生活用水として井戸水を市民の皆さんに活用していただくため、井戸を所有する方々に井戸水の提供について御協力をお願いいたしました。

この指定井戸は、御協力のお申し込みをいただいた井戸のうち、一定の水質を確保することが可能な井戸を「災害用井戸協力の家」と指定させていただいたものです。

災害時の指定井戸の使用にあたっては、地下水汚染も予想されますので、お配りしてある水質検査試薬で井戸水を検査し、有害物質がないことを確認してください。

また、井戸水は、洗浄水などの生活用水として使用し、飲み水は、地域防災拠点等で供給される飲料水や備蓄されたものを使用してください。

なお、この名簿には、上水が確保できる配水池や循環式地下貯水槽及び緊急給水栓も掲載しています。

令和4年4月1日

名簿の使用にあたって

・地名配列は五十音順になっています。

災害時地域防災拠点衛生ポスター啓発パネルの展示について

1 災害時地域防災拠点衛生ポスターとは

地域防災拠点の衛生確保を目的として、避難生活の基本的な衛生対策をあらかじめポスターにして用意しておき、災害発生時に必要な事柄を必要な場所にすぐに掲出できるようにと考えられたポスター集です。平成28年度に各拠点参与を通じて、拠点運営委員会と拠点小中学校に配付しています。

2 依頼事項

拠点訓練時に啓発パネル展示をお願いします。

衛生ポスターを災害時に活用できるように、日頃から拠点運営委員や住民の方にその存在を周知することが必要と考え、啓発パネル（A1版、10枚組）を用意しています。展示の計画が決まりましたら、拠点参与を通じてお申し込みください。

配布済み衛生ポスター

青色ファイル ラミネート加工したもの



展示用貸出物品

啓発パネル



○ トイレ

トイレパックの使用方法、
トイレ使用上の注意等について案内



○ ゴミの分別

分別方法や専用容器に入れる旨を案内



担当：生活衛生課環境衛生係
電話：788-7873

ペット同行避難者に円滑に対応していくために

一時飼育場所の設置や、飼育ルールについて、検討しませんか？

地域防災拠点は、多くの被災者が共同で避難生活を送る場であり、動物を苦手とする人や、動物アレルギーなどの理由で動物と一緒にいられない人もいます。このような避難者がいることを考慮し、いざという時の混乱をさけるため、一時飼育場所の設置場所の検討など、地域防災拠点の実状に応じたペット対策を平常時から準備しておきましょう。

また、ペット同行避難者受入の取組を進めている地域防災拠点にご協力いただき、「災害時ペットの一時飼育場所設置事例集」や「ペットの一時飼育場所開設運営マニュアル(案)」を作成してあります。各拠点運営委員及び飼い主の会の皆様で検討をしていただく際には、参考としてご活用ください。

① まずは

ペットの一時飼育場所を決めましょう

ペットの一時飼育場所事例集

具体的な設置場所の例や写真等を掲載しています。どのような場所が適当か検討しましょう。

- ◆動物飼育小屋の事例
- ◆近隣の公園の事例
- ◆校庭や校舎裏の事例 など

② 次に

一時飼育場所でのペットの飼育ルールを考えましょう

ペットの一時飼育場所開設運営マニュアル案

拠点での一時飼育場所開設までの流れを掲載しています。

- ◆開設運営の手順
- ◆飼育ルール案
- ◆飼い主の会参加同意書 など

※マニュアルの一例です。飼い主の会と拠点運営委員会で検討したうえで、加除修正を行い、地域の実情に合ったマニュアルを作成してください。

③ 拠点開設訓練の時に、 ペット対策のメニューを検討したい

- ペット同行避難訓練を行う
- 飼い主用「ペット用非常時持出セット」の展示
- 訓練参加者への展示や啓発

展示物品等の用意をしておりますので、ぜひ参加を通じ、ご相談ください。



横浜市 災害時のペット対策 **検索**

資料は動物愛護センターのwebサイトからダウンロードできます

ペット同行避難とは？

災害発生時に、飼い主が飼養しているペットを同行し、避難所等まで避難することを「ペット同行避難」といいます。

避難所等において、ペットを同室で飼養管理することではありません。



地域防災拠点におけるペット対策の支援を行っています！

「飼育場所」「ルール」設定や「同行避難受入訓練」に取り組まれる際には、各区役所生活衛生課にぜひご相談ください。内容の検討や課題の解消に向けて、ご一緒に取り組んでまいります。

お問い合わせ：金沢区生活衛生課 045-788-7873

「ペット同行避難者の受入準備を

さらに進めていただくために」

令和4年5月27日
金沢区地域防災拠点運営委員会
連絡協議会総会
横浜市動物愛護センター

地域防災拠点運営委員会の方向けにDVDを作成しました！

横浜市では、ペットと同行避難して来る人を想定し、他の避難者とのトラブルを防ぎ円滑な拠点運営を行うため、あらかじめ学校敷地内（可能であれば雨や風をしのぐことができる場所）等に「ペットの一時飼育場所」を設定しておくことや各拠点の特性に合ったペットの「飼育ルール」を作成しておくことをお願いしています。

このたび、一時飼育場所の設置や同行避難訓練について取組みを進めている拠点の方々にご協力をいただき、DVDを作成しました。拠点訓練に向けた話し合いなどでご覧いただき、各拠点でのペット同行避難者の受け入れに向けた取組みにご活用ください。

地域防災拠点におけるペット災害対策（DVD）

- ① 拠点にあったペット災害対策
一時飼育場所の設定方法など、実際の例を含めて紹介しています。
- ② ペット同行避難者が拠点に来た場合の流れ
ペット同行避難者の受け入れの準備などを紹介しています。



ポイント1

開設セットを準備しておこう！

初動手順や必要な物品をまとめて防災倉庫などに準備しておくことで、避難してきた飼い主同士で、速やかに受入体制が整えられます。

ポイント2

飼い主の会を作ろう！

避難してきたペットの飼養管理を行うため地域の飼い主同士の協力体制を築いておくことが重要です。



ポイント3

飼育ルールを決めておこう！

拠点訓練などの機会を捉えて、事前に飼育ルールを決めておくことで、避難者のトラブル防止に繋がります。

- ③ それぞれの拠点での取り組み
一時飼育場所の設置や同行避難訓練に取り組んでいる拠点の方々にこれまでの取組みなどについてお話を伺いました。これから新たな取組を始める際のご参考にしてください。

災害時のペット対策ガイドラインを改訂しました。

令和2年度の改訂では、主に風水害の場合の避難行動について追記しました。震災時の拠点の対応に変更はありませんが、台風などの風水害に向けた飼い主の事前の一時預け先の確保やマイ・タイムライン（避難行動計画）の作成について記載しています。

横浜市 災害時のペット対策

検索



令和4年5月27日
金沢区総務課

令和4年度 地域防災拠点ブロック連絡会について

各拠点向けに実施したアンケート結果より、令和4年度は拠点間の交流・情報交換を強化していきたいと考えております。ただし、コロナ禍で全体での実施は難しいことから、各拠点を6つのブロックに分け、連絡会を実施します。

1 対象者（各拠点参加枠：5名まで）

運営委員長、副委員長、他拠点の情報を得たい方、自拠点の取組を発信したい方、新たに委員になられた方 等

2 実施方法

区内26拠点を6ブロックに分け、実施します。

Aブロック	小田小学校、富岡小学校、西富岡小学校、能見台小学校、能見台南小学校
Bブロック	西柴中学校、西柴小学校、八景小学校、文庫小学校、金沢小学校
Cブロック	西金沢学園、釜利谷小学校、釜利谷南小学校、釜利谷東小学校
Dブロック	並木中学校、並木第一小学校、並木中央小学校、並木第四小学校
Eブロック	大道中学校、大道小学校、高舟台小学校、朝比奈小学校
Fブロック	六浦中学校、六浦小学校、六浦南小学校、瀬ヶ崎小学校

3 実施日程

別紙「日程調整票」にて、防災訓練や地域イベントによりご都合の悪い日程をお知らせください。（6月17日（金）締切）

なお、特にご都合の悪い日程がない場合にはご連絡は不要です。

4 実施場所

金沢区役所内会議室

5 実施内容

取組共有や質問会等を通じて、拠点間の交流や情報交換を図ります。（2時間程度）

6 実施日程決定後のスケジュール

各ブロックの実施日程が決まりましたら、改めて参加申込のご案内をいたします。

担当 金沢区総務課（TEL 788-7706）
山下、永田、高橋、丸山

令和4年度 地域防災拠点ブロック連絡会 日程調整票

拠点名： _____ 地域防災拠点 担当者名： _____ (電話： _____)

※こちらは実施日程を調整させていただくためのものです。参加申込は別途ご案内します。

◆防災訓練、地域のイベント等により拠点運営委員会としてご都合の悪い日程にXをつけてください。

7/24 (日)		7/31 (日)		8/6 (土)		8/7 (日)	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
8/27 (土)		8/28 (日)		9/11 (日)			
午前	午後	午前	午後	午前	午後		

【提出締切】 令和4年6月17日(金)

【提出方法】 区役所総務課までご郵送、FAX またはご持参をお願いします。(ご都合の悪い日程がない場合は提出不要です。)

- ご郵送の場合 : 〒236-0021 金沢区泥亀2-9-1 金沢区役所総務課 防災担当 宛
- FAXの場合 : FAX番号 786-0934
- ご持参の場合 : 金沢区役所6階総務課 603 番窓口 (防災担当: 山下・永田・高橋・丸山)

令和4年5月27日
金沢区総務課

令和4年度 地域防災拠点訓練見学会について

各拠点向けに実施したアンケート結果を踏まえ、令和4年度は他拠点の訓練をご見学いただき、自拠点の訓練の参考にしていただきたいと考えております。
そこで、以下の2つの拠点訓練について、見学会を実施します。

1 訓練概要（予定）

実施内容	会場	日時
①金沢小学校 夜間訓練 ◆夜間における拠点開設・運営の確認 ・発電機の使用 ・照明の配置 ・ヘッドライトでの各種作業 等	金沢小学校 (町屋町 26-26)	9月10日(土) 18時~20時
②富岡小学校 防災フェスタ ◆資機材取扱訓練や避難所開設に加え、 消防署・消防団と連携した訓練を実施 ・AED 取扱訓練 ・消火器体験 ・消防車両の展示 等	富岡小学校 (富岡西 7-13-1)	11月予定 (日程が決まり 次第ご案内いた します)

2 参加対象者

①、②とも 地域防災拠点運営委員 各拠点2名まで (①、②両方参加も可)

3 申込期限

① 令和4年7月29日(金) ② 令和4年9月30日(金)

申込書を、金沢区総務課までご提出ください。

4 その他

新型コロナウイルス感染症の状況によって、中止となる可能性があります。

担当 金沢区総務課
山下、永田、高橋、丸山
TEL 788-7706

令和4年度 地域防災拠点訓練見学会 申込書
(9/10 金沢小学校 夜間訓練)

拠点名： _____ 地域防災拠点 委員長名： _____ (電話： _____)

参加者氏名	役職	住所	電話番号 (中止連絡用)

【提出締切】 令和4年7月29日(金)

【提出方法】 申込書に必要事項をご記入のうえ、区役所総務課までご郵送、FAX またはご持参をお願いします。

- ご郵送の場合： 〒236-0021 金沢区泥亀2-9-1 金沢区役所総務課 防災担当 宛
- FAXの場合： FAX番号 786-0934
- ご持参の場合： 金沢区役所6階総務課 603 番窓口 (防災担当：山下・永田・高橋・丸山)

令和4年度 地域防災拠点訓練見学会 申込書
(11/〇 富岡小学校 防災フェスタ)

拠点名： _____ 地域防災拠点 委員長名： _____ (電話： _____)

参加者氏名	役職	住所	電話番号 (中止連絡用)

【提出締切】 令和4年9月30日(金)

【提出方法】 申込書に必要事項をご記入のうえ、区役所総務課までご郵送、FAX またはご持参をお願いします。

- ご郵送の場合： 〒236-0021 金沢区泥亀2-9-1 金沢区役所総務課 防災担当 宛
- FAXの場合： FAX番号 786-0934
- ご持参の場合： 金沢区役所6階総務課 603 番窓口 (防災担当：山下・永田・高橋・丸山)

「女性の視点で取り組む防災」動画 DVD について

横浜市では、災害時の支援における男女のニーズの違いに配慮し、男女共同参画の視点からの災害対策に取り組んでおります。この度、「女性の視点で取り組む防災」をテーマとした動画 DVD を作成いたしましたので、地域防災拠点をはじめとした地域の防災訓練等で御活用ください。

《DVD 概要》

タイトル：もしものためのいつもの備え～女性の視点で取り組む防災～

全体時間：25 分 7 秒

動画掲載 URL※ 2

<https://www.youtube.com/watch?v=cakly1o2eTU>



※ 配布 DVD は DVD プレーヤーで再生できるディスクとなります。また、同内容を YouTube にも掲載しております。

動画掲載ページ
(YouTube 内)



～女性の視点で取り組む防災～

- なぜ、女性は災害の影響を受けやすい?
- 知っておきたい、災害時に女性が直面する課題
 - ・災害と女性の健康
 - ・災害と女性に対する暴力
- もしものために、いつもから
～わたしの防災ポーチ



わたしを大切にするための3つの防災力

- 1 イメージする力で、わたしを守る
- 2 つながる力で、安心をひろげる
- 3 あきらめない力を、お守りにする

問合せ
横浜市政策局男女共同参画推進課
TEL 045-671-2017 FAX 045-663-3431
メール ss-danjo@city.yokohama.jp

資料19

令和4年度横浜防災ライセンス講習会スケジュール

事業名	講習会タイプ	日時		学校名	区名	住所	資機材
		年月日	時間				
指導員講習会 1	指導員講習会	令和4年5月14日(土)	9時～13時	消防訓練センター	—	戸塚区深谷町777	座学 +実技
指導員講習会 2	指導員講習会	令和4年5月28日(土)	9時～16時	消防訓練センター	—	戸塚区深谷町777	実技
指導員講習会 3	指導員講習会	令和4年6月4日(土)	9時～16時	消防訓練センター	—	戸塚区深谷町777	実技
資機材取扱講習会 1	拠点型	令和4年8月7日(日)	12時～16時	峯小学校	保土ヶ谷区	峰岡町一丁目10番地	生活
資機材取扱講習会 2	拠点型	令和4年9月18日(日)	12時～16時	阿久和小学校	瀬谷区	阿久和南4-8-2	救助
資機材取扱講習会 3	拠点型	令和4年10月15日(土)	9時～12時	本郷台小学校	栄区	本郷台一丁目6番1号	生活
資機材取扱講習会 4	公募型	令和4年10月29日(土)	9時～16時	牛久保小学校	都筑区	牛久保一丁目23番地1号	両方
資機材取扱講習会 5	拠点型	令和4年11月13日(日)	9時～12時	左近山特別支援学校	旭区	左近山1011	救助
資機材取扱講習会 6	公募型	令和4年11月26日(土)	9時～16時	平沼小学校	西区	平沼二丁目11番36号	両方
資機材取扱講習会 7	公募型	令和4年12月10日(土)	9時～16時	平戸小学校	戸塚区	平戸町542	両方
資機材取扱講習会 8	公募型	令和5年2月11日(土)	9時～16時	桜岡小学校	港南区	大久保一丁目6番43	両方
資機材取扱講習会 9	拠点型	未定	AM or PM	瀬ヶ崎小学校	金沢区	六浦東三丁目2番1号	生活 or 救助
資機材取扱講習会10	拠点型	未定	AM or PM	日本体育大学	青葉区	鴨志田町1221-1	生活 or 救助